

レファレンスセンター会議 薬剤耐性菌

世話人：松井真理
JIHS国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター

レファレンス活動計画

- ①薬剤耐性菌情報還元システム（ホームページ）について
- ②陽性コントロールDNA配布
- ③研修
- ④カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）病原体サーベイランス集計還元

薬剤耐性菌検査に関する情報提供

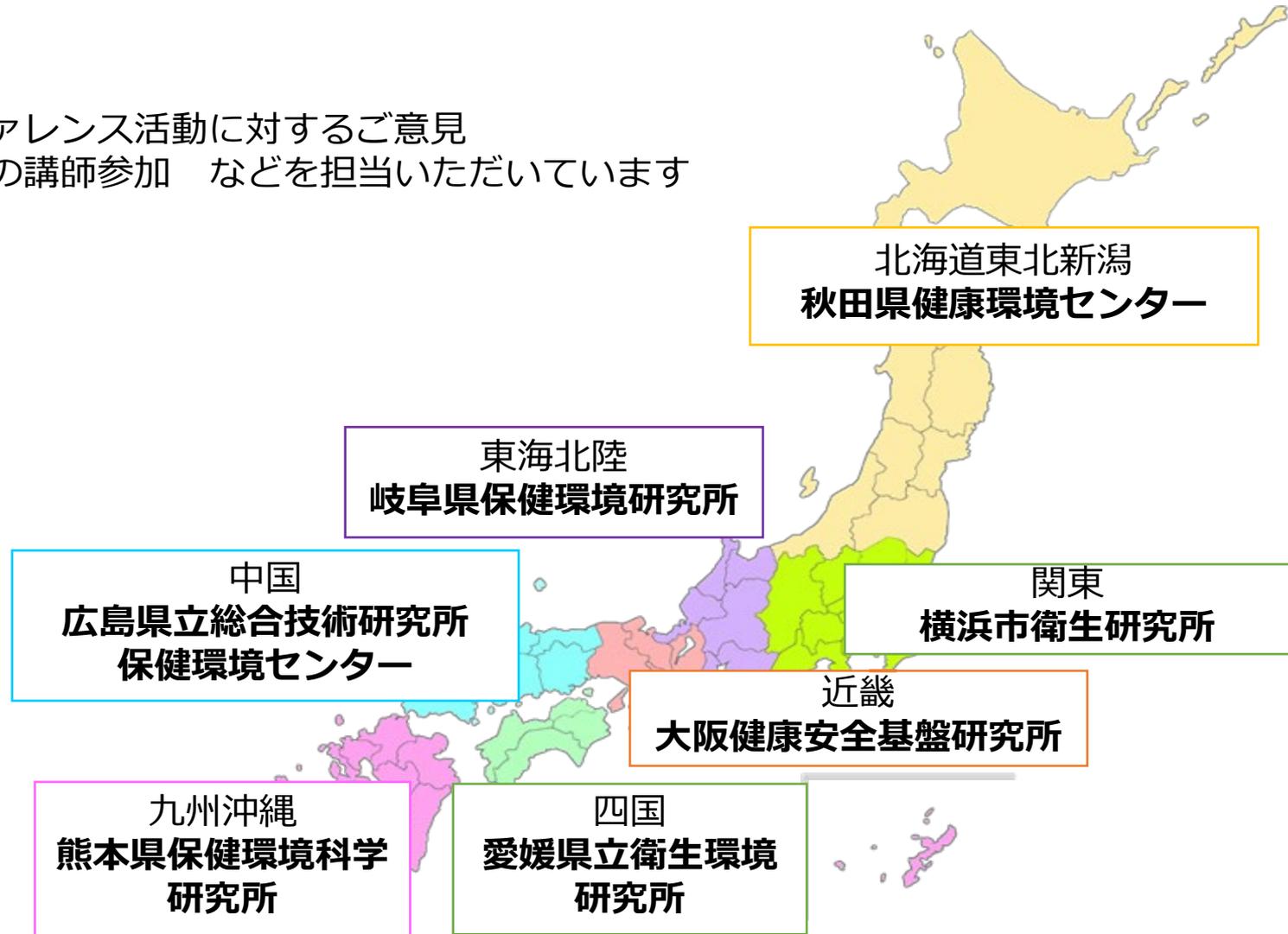
- ①感染症法届出基準改定
- ②CRE病原体サーベイランス情報還元

その他

薬剤耐性菌レファレンス活動に関する意見・要望など

薬剤耐性菌 レファレンス担当施設

レファレンス活動に対するご意見
研修の講師参加 などを担当いただいています



レファレンス活動① 薬剤耐性菌情報還元システム（昨年度後半～ 本格運用開始）

- ・ 薬剤耐性菌レファレンス活動関連のお知らせ
- ・ 薬剤耐性菌に関する情報提供

昨年度まで
レファレンス担当施設経由のメール
↓
システムを通じて案内
(過去のお知らせもシステムで確認可能)

国立感染症研究所
薬剤耐性菌情報還元システム

HOME ログイン

What's NEW

- 2025.04.08 病原体検出マニュアル カルバペナム耐性腸内細菌目細菌 (CRE) を更新しました。
- 2025.03.27 感染症法届出基準等改正の通知について (感感発0326第8号、令和7年3月26日通知) を掲載しました。
- 2025.03.18 カルバペナム耐性腸内細菌目細菌感染症 届出基準の変更について を掲載しました。
- 2025.03.13 令和6年度薬剤耐性菌の検査に関する研修 (基本コース) 講義配布資料を公開しました。
- 2024.02.21 ホームページを公開しました。

トップページ

薬剤耐性菌情報還元システム

ログイン

登録内容の変更は、ログインをして行ってください。

ログインID

パスワード [パスワードを忘れた方はこちら](#)

ログイン

<地方衛生研究所/保健所 薬剤耐性菌試験解析担当者の方へ>
「薬剤耐性菌情報還元システム」ログインページです。
新年度のアカウント登録情報確認・更新をありがとうございました。
ログインできない等のお問合せは松井・鈴木までメールにてお願いいたします。

ログインページ

地方衛生研究所単位で
1アカウント発行 (ID, パスワード)
*アカウント管理者1名登録
*アカウント情報は各所内の薬剤耐性菌
検査担当者で共有可

ログイン後の画面（全施設版 最終更新2025.6.17）



使用用途

- **感染研AMR ⇒ 全施設**
薬剤耐性菌関連資料（研修資料等）をアップし、随時ダウンロード可能
- **感染研AMR ⇔ 個別の地研**
ゲノムデータ等、個別の試験解析結果を共有

現在、1施設1アドレスのみ
複数アドレスへの送信を検討中

情報更新時は、アカウント登録メール宛にお知らせ
（差出人：薬剤耐性菌情報還元システム）

お願い
アカウント管理者、メールアドレス等の変更
→各自、システムから登録情報変更をお願いします

陽性コントロールDNA一斉配布

内容物

- カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）
 バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）
 薬剤耐性アシネトバクター（MDRA）検査用
 *内容物は令和6年度と同一遺伝子型↓

陽性コントロールDNAセット



カルバペネマーゼ遺伝子 (12種)	IMP-1型 (IMP-1、IMP-6の2種)、IMP-2型、NDM型、KPC型、OXA-48型、VIM-2型、GES型、IMI型、KHM型、SMB型、FRI型
基質拡張型 β-ラクタマーゼ 遺伝子 (6種)	TEM型、SHV型、CTX-M-1グループ、CTX-M-2グループ、 CTX-M-8グループ、CTX-M-9グループ
AmpC β-ラクタマーゼ遺伝子 (6種)	MOX型、CIT型、DHA型、ACC型、EBC型、FOX型
<i>van</i> 遺伝子及び <i>ddl</i> 遺伝子 (6種)	<i>vanA</i> 、 <i>vanB</i> 、 <i>vanC1</i> 、 <i>vanC2/3</i> 、 <i>ddl</i> (<i>Enterococcus faecium</i> 、 <i>Enterococcus faecalis</i> の2種)
OXA型カルバペネマーゼ 遺伝子 (5種)	OXA-51-like、OXA-23-like、OXA-58-like、OXA-24-like、IS <i>Aba1</i>

発送予定時期：2025年9月頃

送付申し込み：薬剤耐性菌情報還元システム（衛微協後に案内予定）

レファレンス活動②

薬剤耐性菌検査に関する研修予定

	基本コース（初心者向け） 2.5日間	アップデートコース（経験者向け） 1日間
日時	2025年11月26日（水） 9:00-18:00 27日（木） 9:00-18:00 28日（金） 9:00-12:00	2025年12月10日（水） 9:30-17:00
場所	国立感染症研究所 村山庁舎 （講義のみZoomウェビナー聴講可）	Zoomウェビナー （国立感染症研究所 ハンセン庁舎参加可）
概要	<p>座学及び実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健感発0328第4号（平成29年3月28日）別添1～3の検査項目 ・ 薬剤感受性試験、薬剤耐性菌検査の基本 	<p>座学のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤耐性菌検査関連の情報アップデート 講義内容案（調整中） <ul style="list-style-type: none"> - 感染症届出基準改訂 - 薬剤耐性菌の疫学アップデート - タイピング解析 - 検査における注意点・質問コーナー ・ 外部講師の特別講演
対象者	原則、薬剤耐性菌研修基本コース 現地参加経験のない方（現地参加者）	薬剤耐性菌検査実施経験のある方
人数	30名まで（感染研村山庁舎） （100名程度まで：ウェビナー）	200名程度まで（ウェビナー） （20名程度まで：感染研ハンセン庁舎）

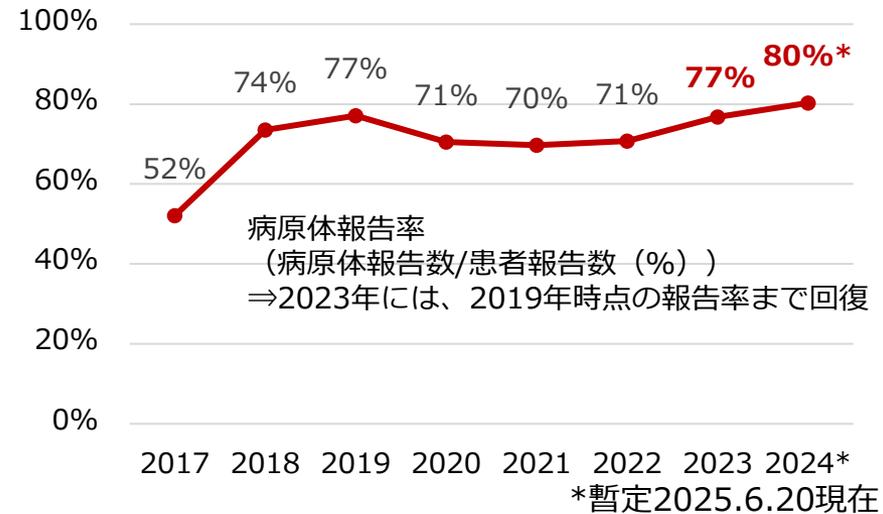
開催要項案内・参加申し込み：薬剤耐性菌情報還元システム（8月頃見込み）

CRE病原体サーベイランス集計還元

病原微生物検出情報 (IASR)

<https://id-info.jih.go.jp/surveillance/iasr/index.html>

- **2017年検体採取分 集計結果**
Vo.39, p162-163 (2018年9月号)
- **2018年検体採取分 集計結果**
Vol.40, p157-158 (2019年9月号)
- **海外型カルバペネマーゼ遺伝子検出株の増加**
Vol.40, p158-159 (2019年9月号)
- **2019年検体採取分 集計結果**
Vol.42, p123-124 (2021年6月号)
- **2020年検体採取分 集計結果**
Vol.43, p215-216 (2022年9月号)
- **2021年検体採取分 集計結果**
Vol.44, p130-131 (2023年8月号)
- **2022年検体採取分 集計結果**
Vol.45, p129-130 (2024年7月号)
- **2017-2023年検体採取分 まとめ**
Vol.46, p26-28 (2025年2月号、CRE特集号)



主な問合せ対象

- 遺伝子型と表現型 (阻害剤を用いた試験) 結果の矛盾
- 菌種名空欄

- **2023年検体採取分 公開準備中**
 - **2024年以降の分離株も適宜登録確認中**
- 病原体検出情報システム登録をお願いします

薬剤耐性菌検査に関する情報提供

①感染症法届出基準改訂

情報提供①

R7.4.7～ カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）感染症届出基準改訂

届出のために必要な検査所見（検査方法の欄）

旧基準

メロペネム 基準

分離・同定による腸内細菌目細菌の検出、かつ、次のいずれかによるカルバペネム系薬剤及び広域β-ラクタム剤に対する耐性の確認

ア メロペネムのM I C値が2 µg/ml以上であること、又はメロペネムの感受性ディスク(K B)の阻止円の直径が2.2 mm以下であること

イミペネム 基準

イ 次のいずれにも該当することの確認

(ア) イミペネムのM I C値が2 µg/ml以上であること、又はイミペネムの感受性ディスク(K B)の阻止円の直径が2.2 mm以下であること

(イ) セフメタゾールのM I C値が6.4 µg/ml以上であること、又はセフメタゾールの感受性ディスク(K B)の阻止円の直径が1.2 mm以下であること



現基準（改訂後）

メロペネム 基準

分離・同定による腸内細菌目細菌の検出かつ、次のいずれかを満たすことを確認

ア メロペネムのM I Cが2 µg/mL 以上であること、又はメロペネムの感受性ディスク（K B）の阻止円直径が2.2 mm以下であること

イ 薬剤感受性試験の結果が上記、アを満たさない場合であっても、イムノクロマト法によるカルバペネマーゼ産生、又はカルバペネマーゼ遺伝子が確認されること

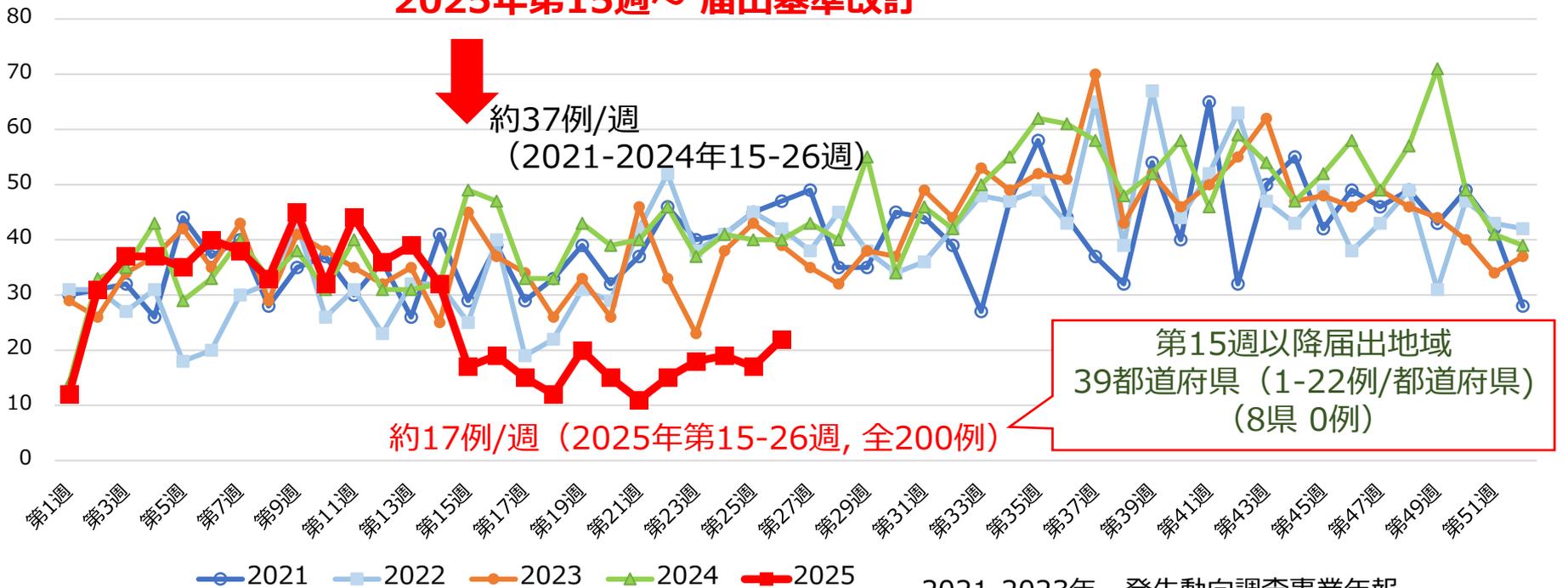
カルバペネマーゼの型が確認されたもの（mCIM・CarbaNP陽性確認のみでは届出対象外）

CRE感染症届出基準改訂後の報告状況（暫定データ）

CRE感染症届出数*（週別，全国）

*感染症法発生動向調査事業年報、IDWRデータより松井が作図

2025年第15週～ 届出基準改訂



2021-2023年 発生動向調査事業年報
2024, 2025年 IDWR速報（累積数の増加分で作図）

全国では届出数は約半数に減少
ただし、届出数の変化（減少割合）には地域差あり

薬剤耐性菌検査に関する情報提供
②CRE病原体サーベイランス情報還元

情報提供②

セフィデロコル耐性NDM-5メタロ-β-ラクタマーゼ産生大腸菌の国内分離例

IASR Vol. 45 p103-104: 2024年6月号

表. 各抗菌薬の最小発育阻止濃度

抗菌薬	μg/mL (判定*)			
	菌株1 80代・尿	菌株2 80代・喀痰	菌株3 90代・尿	
β-ラクタム系抗菌薬	セフィデロコル	>32 (R)	>32 (R)	>32 (R)
	イミペネム	> 8 (R)	8 (R)	4 (R)
	メロペネム	> 8 (R)	> 8 (R)	> 8 (R)
	セフォタキシム	> 2 (R)	> 2 (R)	> 2 (R)
	セフェピム	>16 (R)	>16 (R)	>16 (R)
	セフメタゾール	>32 (R)	>32 (R)	>32 (R)
	アズトレオナム	> 8 (R)	> 8 (R)	> 8 (R)
	ピペラシリン・タゾバクタム	>64 (R)	>64 (R)	>64 (R)
	レボフロキサシン	> 4 (R)	> 4 (R)	> 4 (R)
	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	> 2/38 (R)	> 2/38 (R)	> 2/38 (R)
	アミカシン	≤ 8 (S)	>32 (R)	>32 (R)
	チゲサイクリン**	≤ 0.5 (S)	≤ 0.5 (S)	≤ 0.5 (S)
	コリスチン	0.5 (S)	1 (S)	0.5 (S)

2018年
CRE感染症届出患者分離株
E. coli ST617

R: 耐性、I: 中間、S: 感性

*CLSI M100-Ed32に準拠

**チゲサイクリンのみEUCAST Version 14.0, 2024に準拠

IASR

新規β-ラクタム系抗菌薬

- ・イミペネム/レレバクタム
- ・セフトジジム/アビバクタム
- ・セフィデロコル

この中でメタロ-β-ラクタマーゼ産生菌に抗菌活性があるのはセフィデロコルのみ

公開日：2025年2月25日

[PDF](#) (PDF:2,560 KB)

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE) 感染症、2024年現在

特集

[カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 \(CRE\) 感染症、2024年現在](#)

特集関連情報

[医療機関における最新のカルバペネマーゼ産生腸内細菌目細菌 \(CPE\) 検査方法](#)

[カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 \(carbapenem-resistant Enterobacterales: CRE\) 病原体サーベイランス、2017～2023年](#)

[下水サーベイランスにより検出されたカルバペネマーゼ遺伝子保有大腸菌—岐阜県](#)

[海外におけるカルバペネマーゼ産生腸内細菌目細菌 \(CPE\) の動向変化](#)

[KPC-2産生 *Enterobacter kobei* によるICU内感染伝播事例における菌株解析—神戸市](#)

[JANISデータから見たCREの疫学\(2014～2023年\)](#)

[CRE感染症の治療](#)

[国内分離CREに対する新規抗菌薬の薬剤感受性](#)

[カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症届出に必要な検査所見 \(届出基準\) の背景と経緯](#)

薬剤耐性菌レファレンス活動に関する
ご意見・ご要望など